

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年9月17日

施設名	高知県立高知公園	所管課	文化財課
-----	----------	-----	------

1 施設の概要

指定管理者名	入交グループ高知公園管理組合	指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1丁目2-1		
事業内容	(1)高知公園内の清掃 (2)高知公園内の植栽、樹木管理 (3)高知公園内の重要文化財建造物、石垣などの文化財以外の工作物、建造物の管理 (4)特定公園施設(天守、懐徳館、駐車場など)の利用料金の收受 (5)その他高知公園の維持管理に関すること		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など ・土地面積:102,925.48㎡ ・建造物:天守、懐徳館、東多門、廊下門、詰門、黒鉄門、追手門、管理事務所、休憩所、トイレ5棟、プレハブ小屋1棟、休憩所1棟、倉庫1棟 ・開館時間:天守、懐徳館等(9時から17時) 駐車場(7時30分から18時30分) ・利用料金:別紙の通り		
職員体制	常勤職員:14人 非常勤職員:12人 合計:26人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成23年度(決算)	平成24年度(決算)	平成25年度(予算)
収入	県支出金	30,328	35,101	33,800
	使用料・手数料	116,383	109,704	98,251
	その他	10	222	
	収入計 (a)	146,721	145,027	132,051
支出	事業費	5,444	5,918	4,000
	管理運営費	51,508	46,055	36,741
	人件費	84,216	84,809	91,310
	その他			
	支出計 (b)	141,168	136,782	132,051
収支差額 (a)-(b)		5,553	8,245	0

3 利用状況

	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	平成25年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	277,117	252,031	215,888
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>時期:全期間 方法:公園内2箇所にアンケート箱を設置し、投函して頂く 回答数:993件(前年916件) 主な内容: ①公園内で歌手などイベント開催の要望 ②公園の適切な管理に対する評価 ③重要文化財建造物について保存の要望 ④エレベータやバリアフリー通路の設置要望</p> <p>○ その他</p>		
③その他特記事項	<p>大河ドラマの放映が終了したが、「リョーマの休日」キャンペーンなどの継続的な取り組みによって、入館者数は、前年度対比90.9%と前回の大河ドラマ放映後の様な落ち込みを見せなかった。また、駐車場の利用台数は、前年度対比101%とほぼ同水準を維持した。</p>		

4 平成24年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>公園外周側溝の浚渫や公園内の清掃については、改善が図られ適切に実施された。窓口業務についても適切に実施されている。</p> <p>また、高木剪定、枯死木の伐採に積極的に取り組むなど公園の環境改善に積極的に取り組んでいる。</p> <p>事務執行においては、県への提出物が遅れがちになるなど改善の必要がある。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>夏季の入館者へのおしぼりサービスやミストテントなど利用者の立場に立った取り組みが継続的に取り組まれている。</p> <p>指定管理者として誘客のためにイベントを開催するだけでなく、県の主催するイベントにも参加し、その定着を図った。また、指定管理者の実施する事業及び県、高知市の観光イベント等に対応して開館時間の延長に取り組むなど利用者に対する積極的サービスが取り組まれた。</p> <p>度々苦情のあったブローアーによる清掃作業を大幅に見直し、ほうきや手作業を主体とした清掃に切り替えた。これにより、利用者が不快に感じる騒音や粉じんは出なくなり、環境が大きく改善された。</p> <p>利用者アンケートの回答に定型的なものが見受けられることから利用者のニーズを引き出す工夫が必要である</p>
③利用実績	<p>平成24年度の入館者は、前年度対比90.9%と減少した。前回の大河ドラマ「功名が辻」放映(平成18年度372,753人)では、翌年度以降(平成19年度 214,580人平成20年度 208,500人)大幅に減少していることと比較すると今回の大河ドラマ放映(平成22年度 344,641人 平成23年度 277,117人 平成24年度252,031人)の減少率は小さい。</p> <p>また、平成24年度の入館者は、大河ドラマ「龍馬伝」の放映決定により入館者が持ち直した平成21年度の252,445人とほぼ同数であり、水準維持が図られている。</p> <p>これは、指定管理者による他県バス会社などへのPRや大河ドラマに続き、「リョーマの休日」キャンペーンの開催など高知県の認知度を高める取り組みが功を奏し、高知への来県者が維持されたことが背景にあるものと考えられる。</p>
④収支の状況	<p>収支とも、執行計画を上回った。収入増の要因は、目標を上回る来園者が訪れたことがある。支出の増加要因としては、高木剪定の実施などにより管理費が増加したことなどがある。</p>
総合評価	<p>総合的には、必要な水準が維持されている。事業の実施にあたっては主催する行事のテレビコマーシャルを放映するなど、集客に向けて意欲的な取り組みがなされた。来園者へのサービスについては、夏季のおしぼりサービス、ミストテントの設置など行き届いた心配りがなされた。公園管理全体としては、高木剪定に積極的に取り組んだ事や側溝清掃が適切な時期に行なわれるなど、年々改善に向けた努力がされている。</p> <p style="text-align: center;">A</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの